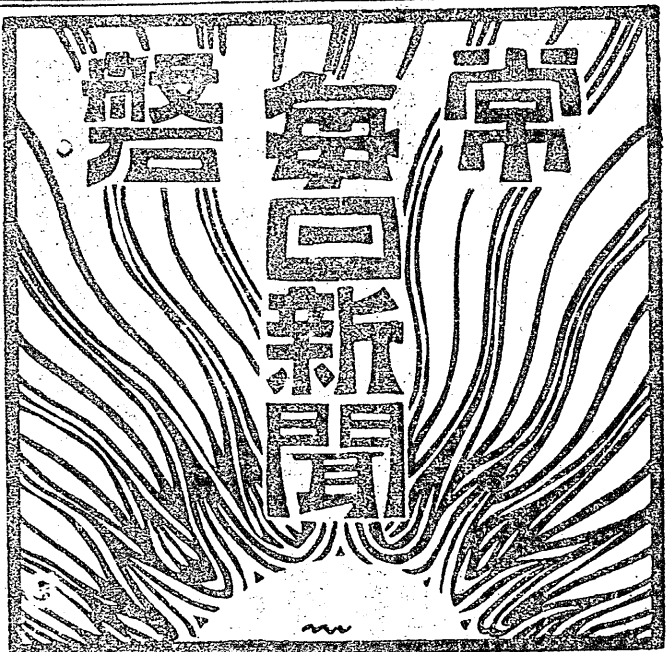


發行所 磐城郡平町字長崎町五番地
電話 六十七番
中野吳服店
電話 六十七番



刊夕日八月七

定額 二部金武鏡 廣五十二休日曜大祭 福島縣石城郡平町田町廿六番地
一月限り 告字詰一行 刊日ノ翌 印刷所 一〇活版所

有給の店員

十名を望みます
初給年六十圓 (順次昇給)
年齢十三四歳以上にて十六七歳とめ
尋常卒業以上
希望者は至急を願ひます
磐城平町 中野吳服店
電話六十七番
大商人を望む方よ來れ!

絶對はげぬ 染の特色

1. 家庭洗濯法に對しては絶對に色褪せぬ
2. 洗濯の度に色相の美を發輝する特色を有し
3. 白布と共に洗濯しても決して白布を汚しません
4. 盛夏の日光の最も熾烈なる炎天下に直射乾燥せしめても断じて褪色致しません

二井吳服店 電話三十八番
約特店 電話三十八番
逸高級眼鏡 (メニスカス) 間メニスレンジを何んぞ皆さんがお好みになるのです
常盤屋時計店 電話三十九番
本店眼鏡部は各國品多數取揃へ電力應用で速時調整します

裏と表 (一)

中山雅司 寄書

鶏口となることも牛後となるも勿れ」とは如何にも奇骨稜々軌氣満々強刀一本腕二本、これでも男は千貫萬貫のおれやれ取る機会を得ば天下も取らうぞの氣概躍進轉た青年の元氣を鼓舞するに足るけれども今日の社會實は下手な細工の鶏口となつて、日夜の苦心慘膽、失敗、破滅の憂き目を見るよりは、寧ろ牛後となつて安全第一の境涯を造り徐ろに牛背に誇り牛頭に及ぶの策を建つるに若かず、この意

清酒 釀造元 石城郡平窪村
鶴仙 余松吉屋本店
電話二四一番

買好子店 良品ヲ安ク賣ル
クースーリ
関内藥舗 藥劑師 関内栄助 電話四〇番

平船町 吉田眼科醫院
一册の代金で 御希望通りな 五册の雜誌が 自由に讀める
自由圖書館
柏屋染物店 柏傳刺子部 平町材木町
一册の代金で 御希望通りな 五册の雜誌が 自由に讀める
川崎巡文庫 (申込次第規則書進呈)

寄附者芳名廣告

小計壹千四百四拾圓
一金參拾圓 猪狩正平殿
一金貳拾圓 梅原利三郎殿
累計壹千四百九拾圓也
本廣告ヲ以テ領收書ニ代フ
大正十三年七月八日
大瀧發電所 許可反對 同盟會

味より、真に牛後となることも鶏口となる勿れだ
凡そ自然界及人爲界のあらゆる現象は、必ず表裏強弱、陰陽善惡等互に相反したる兩面に依つて、組織され構成されて居る、例へば嘘から出た嘘、の反面に誠から出た嘘、があり玉に瑕の裏に、瑕に玉があり、正直は成功の基、に相違なきも時には失敗の基となる英雄ビスマルクに言はせること『正直は愚人の定木なり』なるほど考へ様では是れも眞理なり『人生女となる莫れ百年の苦樂他人に依る』とは昔の事、今日激烈の生活難に追ひ廻さるる男血の膏汗ダラ〜と懸命の勞動に骨身を碎いても、一つ間違へば生白い手に胸倉ぐつと取られ、何んですとへん面白くもない、浴衣一枚満足に着せられないで、亭主風が聞いて呆れる
斯ふなるをつく〜『人生男となる莫れ、百年の苦樂女に依る』の嘆がある
斯く物には必ず相反した兩面があるけれども、其兩者の關係は、永劫不變なるものでは無い、靜中動あり、動中靜あり、よしや凡眼これを認めずとも宇宙は生々萬象は活々まことに諸行無常にして有爲轉變、寸時も止る處を知らない

株式買中値

左記の値段は本日標準値に付御用の節は御問合願候

銘柄	拂込	時價
磐城銀行	五〇〇	五三〇
平銀行	五〇〇	七一〇
磐城銀行	五〇〇	一〇五
磐城銀行	五〇〇	四三〇
磐城銀行	五〇〇	二九〇
田村銀行	三〇〇	一二五
四倉銀行	一七五	一七五
農工銀行	二〇〇	二四五
同 新	一五〇	一八八
百七銀行	五〇〇	五五〇
同 新	一一五	一六〇
七七銀行	一一五	九八
同 新	一一五	三六五
只見川電	一一五	一六〇
植田水電	一一五	一五五
好問水電	一一五	一三五
磐城製菓	一一五	一三五
同 新	一一五	一三五
磐城製菓	一一五	一三五
同 新	一一五	一三五
好問製菓	一一五	一三五
同 新	一一五	一三五
植田製菓	一一五	一三五
同 新	一一五	一三五
好問製菓	一一五	一三五
同 新	一一五	一三五
入山製菓	一一五	一三五
小田製菓	一一五	一三五
同 新	一一五	一三五
磐城製菓	一一五	一三五
同 新	一一五	一三五
同 新	一一五	一三五
平運送	一一五	一三五

平町田町 電話三三二番
丸登株式会社
川添房 二郎

水利權放棄の 手續未だ完了せず

栗原専務の動勢が不明 水道委員等善後策協議

大瀧發電所は履報の如く栗原平電氣専務から水利權放棄の手續きを運ばんが爲め出願取下書を香坂知事に提出する事に依つて萬事の解決を告げ平三萬町民の願望は始めて達成される譯なのであるが昨日迄には未だ其取下書が提出された模様がなく平町役場にも其後の様子を知らんが爲め恐かに栗原氏の動勢を調べたが何れも何れも何れも暗に飛躍を試みて居るのか

平町歸郷軍人

平町五丁目仙臺衛成病院看護卒水野光吉、同町三丁目野砲兵第二聯隊清水英の兩氏は明九日午後四時卅分平驛着にて歸郷する由

衛生係員改選

平町立町衛生區にては世話人改選の結果左の如く決定(衛生區長)鈴木奉毅(世話係)吉田庄太郎、佐藤熊之助、降谷龜太郎、大竹慶造、正木廣藏

前途を

樂觀し本日午前十時からは水道部樓上にて町會議員中の水道委員會を開き取消後の水道保全に關する善後策を協議すと

少年野球参加

本縣体育協會主催第一回少年野球大會は来る十二、十三の兩日本縣師範學校に於て

常磐片々

大瀧發電所の水利權は依然として未だ栗キンの手中に在り

○ さりとば栗キンの往生際甚だ悪るし

○ そんな事では栗キントンの眞の味は出ないゾ

○ 暑熱の爲めに汽車のレール伸びる、熱々で伸びるのは穴勝ち鼻の下ばかりではないらしい

○ 此テッで水利權放棄も熱々

年に比し決して少くないといふ平町の氷屋さんは右の内三割位を占めて居る今までは冷気がちで失敗に終つたがこれから急に忙しくなるだらうとまつてる

平郡線のレール膨張

酷暑の爲めに 列車の震動激しいので 外側に曲つたのを發見

六日午後十二時半頃磐越東線小野新町神保驛間二十七哩六十鎖を上り四五六旅客列車が進行中列車の震動激しかつた爲め保線工夫を派遣して取調べた所レール酷暑の爲め膨張し間隔が無く盛上つて外側に彎曲して居ることを發見した

男女兩名 姓名を偽り

平町にて拘留

石城郡赤井村大字鹽田字平石薪炭業柳内重太郎(男)は情婦なる北海道生れ岡部カク(女)の兩名は去月十七日より昨日迄同郡内郷村大字小島旅人宿山形屋に住所姓名を偽つて投宿せる事發覺

カテイラン 鯉の醤油かけ

新しいかつを、五分か四分のさいの目に切り、生醤油大サジ一ぱいに砂糖を小サジ軽く一ぱいのわりでこしらへた汁の中に漬けておきます。二時間位たちましたら汁を切つて小皿に盛り分け、もみのりをふりかけて

小鯛の皮付刺身

小鯛の昔をよく取つて三枚におろし、小骨を抜いておきます。できましたら粗のうにのせ、熱湯をその両面に

勿來海岸に 貸間を新設

石城郡窪田村勿來海岸は風景明媚で常磐線中の絶勝地として知られこの避暑地海水浴場としても申分のない場所であるが民家も少く旅館や貸間の設備がないので地方發展の爲め遺憾であつたが同地の有力家金成、赤津、小野、舟生、皆川の諸氏發企となり貸間を新設し此程漸く竣成したので櫻雲

時間を改正

常磐線の 複線完成し

常磐線植田、勿來の複線工

有難涙

平郵便局員の 執務時間が 改正されて

事はこの程落成したので列車の運轉を増加する模様でこれにともなつて八月一日から時間の改正を爲す由

平町人事

△出生
△久保町 荒川千代造氏長男清
△死 亡
△材木町 中村茂太郎(男)

夏三署長、南京虫の話題 最後ツペ

伊藤平警察署長は最近左腕數ヶ所に南京虫から傷害を加へられた其處は御職掌柄だけに被害現場は署長官舎との鑑定が済んだ爲め刑事數名を督勵して犯人を南京虫の搜索に努めたが何處へ行衛を晦ましたものか遂に逮捕するに至らなかつた、茲に於てか伊藤署長は大いに皮肉の嘆に耐えず昨夜負傷ヶ所に相當手當を加ふべく藥瓶一個を携へて藥舖よりアンモニヤを買ひ求め散步券々南町裡に歩を進めると怪し氣な女性が現れ盛んに遊興を勧めた揚句署長の手を持つたアンモニヤの藥瓶を一つの矢天皇の土産なるべしとて是れを強請して止まないう依つて署長一策を案じ其の藥瓶の口を抜いて女の鼻に押し付くるや流石に怪しの女性も其猛烈な臭氣に一驚を吃しタダダズとなつた隙を見て脱兎の如く逃げ出したとは多分署長も狐の最後ツ屁軍法を利用したものであらうと噂ざりたり

にざつとかけ後、普通のおさしみにつくりませう。お皿の上に青シソの葉か、櫻の葉をよく洗つてしき、お刺身をその上にもつて、ツサビを添へます、熱湯のために兩側が半熟になつているのでながくはおけませんから、これは食前に運ぶすぐ前あたりにこしらへたいのです

發行所 川崎文治 電話 〇七五五番
印刷所 福島縣石城郡平町字長橋町五番地 電話 〇七五五番

常盤新聞

定価 一月金貳拾五圓 半年百拾圓 一年金貳百圓 外埠送料別

休日 日曜大祭 祝日ノ登

活版所 印刷所 一〇〇活版所

刊夕日九月七

常盤文藝

「梅雨あけ」 二光

細々と煙る雨が
長い糸をひいてゐる様な
まどまりのつかない雨が
やうやう止んだ頃は
灰色の空のかはりに
透明な碧玉の空が
一杯に擴がつてゐます

蛙がころ／＼と
緑色の毛壇を
敷結たやうな田浦で
嬉しさうに唄つてゐます。
朝の陽が意勢よく
美しく輝き出すと
葉末々々の露の寶玉が
キラ／＼と七色に
光りながらこぼれます

何も彼もが
言つてゐるやうですわ
『もう夏ですよ。』と。
一五四、六、二

有給の店員
十名を望みます
初給年六十圓 (順次昇給)
年齢十三四歳以上にて十七七歳まで
尋常卒業以上

希望者は至急を願ひます

大商人を望む方よ来れ!

磐城平町 中野呉服店
電話六十七番

是非
粹上品な履物を
御求めの際は

内科・外科・花柳病科
耳鼻喉科・婦人科

赤心堂病院
平町田町(電話四七五番)

内科・外科・婦人科
デアテルミ光線科
花柳病科・胃腸病科

松村病院
平町南町(電話二〇七番)

内科・外科・耳鼻
咽喉科・花柳病科

高久病院
平町田町(電話五一三番)

看護婦派遣
の求めに
平町南町 平看護婦會
電話三〇七番

三井ハキモ店

寄附者芳名廣告

小計壹千四百四拾圓

- 金貳拾圓 猪狩 正 平殿
- 金貳拾圓 松原 利三郎殿
- 金貳拾圓 柳崎 長三郎殿
- 金拾圓 松崎 菊三郎殿

累計壹千五百貳拾五圓也

本廣告ヲ以テ領收書ニ代フ
大正十三年七月九日

大瀧發電所 許可反對 同盟會

銘大 柏
氷の果實蜜は
東京製品特に
勉強仕候

平町字長橋町 柏木支店

TRADE MARK NIPPON PHONE
レコード

リゴ	〇.80
エー	〇.90
エー	1.20
エー	1.20
エー	1.20

ツバメ印レコード
會社と海岸線一手
特約として向ふ
二ヶ年間同印兩面
レコード一枚一圓
宛で差上ります

平町一丁目(電話三三九番)
常盤屋時計店

流水錦 琵琶教授

平手錦鞭

こりや驚いた。誰でも驚く。
馬鹿に値が安いぢやないか。
ピスケツト百枚
金二十一十銭

平町田町 吉田眼科醫院

裏と表 (一) 中山雅司

古い諺に、昨日の淵は今日
の瀬となり、年々歳々花
も人も同じからず、歌舞の
地、忽ち鳥雀の野と變り、
落花を雪と見た華奢全盛も
草を敷き寝の轍軻浪々も、
指を屈すれば唯これ僅に朝
暮の差のみ、苦あれば樂あ
り、歡樂極まれば哀情多し
これぞ世に言ふ塞翁の馬、
吉凶禍福、窮達消長、入り
代り立ち代りまた入り交つ
て轉換反覆、斷又續
此關係は一見喜びの果て
に悲みが生じ、表が盡きて

初めて裏が顯はれるやうに
考へらるるけれど、實はさ
うでない喜びといふ状態に
ある間、既に悲みが潜んで
居り、表といふ階梯に居る
中既に裏の來るべき徴候が
ある、例へば波の様なもの
で、寄する波には何れ引く
べき性があり、引く波には
再び寄すべき定めがある、
また恰も時計の振子の如く
右に動き初めた瞬間、既に
左動の運命を持ち、左に動
き始めた刹那、既に右動の
約束を有す

國亂れて忠臣出づと雖も
實は平時に於ても、其人は
存し、歳寒うして松柏の凋
むに後るるを知るも、

株式賣買中値

左記の値段は本日の標準値
に付御用の節は御問合願候

銘柄	換込	時價
磐城銀行	五〇〇	五三五
平銀行	五〇〇	七一〇
磐城銀行	一二五	一〇五
磐城銀行	五〇〇	四三〇
磐城銀行	三〇〇	二九〇
田村銀行	一二五	一二五
四倉銀行	一七五	一七五
農工銀行	二〇〇	二四五
同新	一五〇	一八八
同新	一五〇	一八八
同新	一五〇	一五五
同新	一二五	一六〇
同新	一五〇	一六〇
同新	一五〇	一六〇
同新	一五〇	一六〇
同新	一五〇	一六〇
同新	一五〇	一六〇
同新	一五〇	一六〇
同新	一五〇	一六〇
同新	一五〇	一六〇
同新	一五〇	一六〇
同新	一五〇	一六〇
同新	一五〇	一六〇
同新	一五〇	一六〇
同新	一五〇	一六〇
同新	一五〇	一六〇
同新	一五〇	一六〇
同新	一五〇	一六〇
同新	一五〇	一六〇

平町田町 電話三三三番
丸登株式会社
川添房二郎

中央からの波動で 各銀行は何れも警戒

確實な經營を第一義に 飽迄形勢觀望の姿

石城郡内金融の不廻りは大正八九年の財界大變の期より以上の状態であると噂されて居る比較的企業の盛大なる平町の昨今は殆んどそれ絶無の有様となり最近各銀行筋の

態度に つき消息通の觀る所に依れば東京市地方に本店を有する各銀行出張所は同地方復興した爲め地方資金の吸収に追はれる傾向がある事はやむを得ない處であるが

平町を 中心とせる産業振興を目的として居る本店の各銀行でも時節柄貸出し方面には警戒して居る

久邇宮殿下 分末練を残して更に三日間の延期を願ひ一説には東京方面に飛んで何事かを策する處あつたと傳へられて居るが本日歸平小田吉次中野甲藏の兩氏に會見したので此成行如何は町民多数の注目の焦点となりつゝあり次第に依つては紛糾を再燃しないとも限らない爲め許可反對反盟會からは大原會長を始め三四の幹部が小田吉次氏を訪問一刻も速やかに出願取下げの手續に及ばん事を懇請した由である

久邇宮殿下 分末練を残して更に三日間の延期を願ひ一説には東京方面に飛んで何事かを策する處あつたと傳へられて居るが本日歸平小田吉次中野甲藏の兩氏に會見したので此成行如何は町民多数の注目の焦点となりつゝあり次第に依つては紛糾を再燃しないとも限らない爲め許可反對反盟會からは大原會長を始め三四の幹部が小田吉次氏を訪問一刻も速やかに出願取下げの手續に及ばん事を懇請した由である

栗欣の行動は 注目の焦點

小田吉次氏に 大原會長懇請 栗原平電氣専務は大瀧發電所水利權に對し未だ思ひ切つてアキラメ盡す事が出来ず先般香坂知事に對し水利權放棄の手續を五日迄に完了すべく契つたに拘らず充

常磐片々

三萬町民は未練な栗欣の行動を監視せねばならぬ

知事の水利權放棄勸告に依つて問題は意外に速やかに解決され三萬町民の振り上げた拳は下げ場のない爲め實は今宙に迷つて居る

その拳が再び振り下げられたら大變、栗欣は覺悟は確かかか?

無名の一醉人本社に狂歌を寄せて曰く『滋味ある、栗欣の欣さんやがられ、知事は澁面、町惠比壽顔』

常磐石炭 運賃引下運動

常磐石炭聯合會は五日午前十時半日本工業俱樂部に開催(一)隅田川貯炭場變更に關し鐵道省より申越の件 (二)貨車配給率に關し鐵道省より仙臺地方に對し從來より貨車配給増加申込の件 (三)石炭運賃引下に關する結果一、二案は承認三の石炭運賃引下に就ては全國の石炭當業者全體の問題で殊に現下石炭不況の折柄常磐石炭聯合會のみでないから之れは全國的に運動を爲すこととし全國石炭聯合會の麻生會長に一任する事として一時半散會

帝國館にては 斷然米國映畫を排斥

東都に於ては現下の時局に鑑み米國映畫を排斥するの聲高く例へ是れを上映するに雖も憂國的觀客は一種のボイコットを行つて斷然入場し ない程總べての米國種が不人氣になつた爲め東都の各映畫會社にては打算的な立場から米國種は是れを地方常設館に上映するの方針で現に平町に於ける帝キネの直營たる帝國館にても本社から廻附された米國ユニバール特サ作の連續映畫『鷹の追跡』を上

カテイラン 飲料水について

ビールビン又は清涼飲料の樽は、箱入でも、はだかの物でも、さかさにして貯へるとよい、倒にしておけば自然栓の處がうるほふために瓦斯のもれるおそれなく萬一もれても液と一緒に出るからすくもれる事に氣付

伏見助役出縣 水道問題其他

伏見助役は本日午前九時發平郡線にて大瀧發電所問題

愈々來る廿一日から 平局にて新切手賣下

一錢五厘と二錢の二種類 平町内各戸を歴訪せしめ高燭点燈の勸誘中である

大工組合 昨日總會

平町大工組合にては昨日午前十時から吉田屋に於て定期總會を開き左記滿期徒弟三森已代松方三名、林正三、金澤進、境田安孝、渡邊眞平方一名、大森誠、樋口八藏方二名、鈴木辰治、二瓶義雄、志賀萬次郎、方一名、猪狩傳治、野口善作方一名、松本傳、鈴木友

不平受付 投書歡迎

震災失職者 近頃親子三人連れて白河出身の者がだが東京震災の爲め職を失ふた故御同情を乞ふと云ふて軒毎に廻つて居るものがありすが當局では此震災失職者を何んとか救濟出来ないものでせうか(白河出身者)伊藤平署長の答 當署には御承知の如く人事相談所の設備がありますから實際に失業して困つて居るものとすれば甚だ氣の毒な事ですから事情に依つてはお世話致さぬ譯でもありません

風を喰らつて 姿を晦ます

平町南町飲食店吉本車只野ののである。飲みさしのビールは、密に栓をして前のやうに倒立して貯へれば氣がぬけて呑めぬやうな事は無い、びんを倒さに立ておくとには圓孔をあけた棚板があれば最も便利である、凡てに用ゆるカップは冷いものを入れる時には冷しておくとよい酒は人肌といふが酒の種類により、用る人の

吾妻山登山 警女生廿名が

平町縣立警城高等女學校生徒廿名は櫻井校長外二教諭二名と來る廿七日二泊の豫定にて吾妻山に登る

平町人事

出生 佐藤幸太郎氏長男孝敬
死亡 佐藤タカ(八八)
△新川町 佐々木ツヤ子(三二)
△五丁目 佐々木ツヤ子(三二)

校長の講話

國葬當日に 警中第一校 十二日の松方公國葬當日警城中學校及び平第一小學校では授業を休む代りに校長から公生前の勳績に就いて

募集 文藝其他一般投稿を募集します

治方一名、小湊由雄を表彰し種々懇談の末午後四時散會したが同組合の役員は左の如くである (監査役)佐々木喜平(組合長)鈴木友治(副組合長)圓部吉次(會計)小野富吉、大垣道太郎、渡邊眞平(評議員)志賀義平外十八名